

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(令和元年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目（目標）	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等	
1 地域医療構想を踏まえた対象期間末における具体的将来像				
1-1 地域医療支援病院の承認（目標：平成30年度）				
1-1-1	平成28年9月に実施した南部区域の保健医療機関を対象とした「地域医療機関連携調査」の結果をもとに、地域医療機関との連携を強め、紹介率・逆紹介率の向上に努める。	B	地域連携担当を平成30年4月に2名、平成31年4月に1名の合計3名を専従配置して、登録医の拡大に努めている。引き続き、当センターへの紹介率及び地域の医療機関への紹介率の向上を図る。	地域連携担当を令和2年4月にさらに1名専従配置し、合計4名とした。引き続き、登録医の拡大に努めるとともに、当センターへの紹介率及び地域の医療機関への紹介率の向上を図る。
1-1-2	医師会及び地域の医療機関と、施設の共同利用に向けた契約を締結する。	A	平成28年度実施済み MRI・CT・RI検査の施設共同利用件数 平成29年度：307件 平成30年度：402件 令和元年度：408件	
1-2 DPC特定病院群（Ⅱ群）への移行（目標：平成32年度）				
1-2-1	平成28年10月に増設した手術室1室を活用し、既存診療科における高度な手術件数の更なる増加を図る。	A	手術件数：5,688件（前年度比506件増）	手術室の稼動状況を分析した結果、前年度より手術件数は増加したが、DPC特定病院群（Ⅱ群）の基準値は達成できなかった。手術室の効率的な稼働により基準値を目指す。
1-2-2	平成29年4月より心臓外科を新設し、新たに心臓外科領域の手術にも対応していくことで、外保連手術指数の向上を目指す。	B	心臓外科手術を年間18件実施した。 経皮的カテーテル心筋焼灼術を年間79件実施した。	地域の医療機関との連携を更に深め、心臓外科手術は週1回の年間50件を目指すとともに、心臓カテーテル用検査装置を使用することによる、経皮的カテーテル心筋焼灼術を週2回の年間100件を目指し、DPC特定病院群（Ⅱ群）の要件の一つである外保連手術指数を向上させる。
1-2-3	内科領域に関しては、現在DPC特定病院群（Ⅱ群）要件をクリアしているため、現在の水準を維持・発展させる。	B	DPC特定病院群（Ⅱ群）要件を上回る水準で順調に推移している。	DPC特定病院群（Ⅱ群）要件の水準は年々上昇していることから、常に上回るよう努める。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(令和元年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目(目標)	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
2 埼玉県南部区域の基幹病院として、高度急性期医療に対応できる病院の実現			
2-1 救急医療の更なる充実			
2-1-1 ER型救急システムを稼働する。	A	令和元年7月にER用診療スペースの改修を完了し、10月より稼働。総合診療医は2名体制を継続している。	ER型救急システムについて稼働後の課題が生じた場合などは、随時改善を図る。
2-1-2 夜間・休日MRIを稼働する。	A	平成28年11月から継続実施 令和元年度実績：198件	
2-1-3 定期的な情報交換も含め、救急隊との連携を強化する。	B	埼玉県メディカルコントロール協議会、埼玉県南部地域メディカルコントロール協議会、埼玉県南部医療圏CCU連絡協議会に参加し、救急医療関係者と連携を図った。	当センターが2次・3次救急医療機関としての役割を全うするため、救急搬送に関し、引き続き消防局等の救急医療関係者と連携・調整を図る。
2-2 がん診療連携拠点病院としての専門的機能の更なる強化			
2-2-1 緩和ケア病床・緩和ケア病棟を設置する。	B	令和元年度に市の方針として緩和ケア病棟を設置することが決定された。	設置に向け、緩和ケアプロジェクト会議を開催するとともに、設備工期の調整等を行う。
2-3 埼玉県の基幹災害拠点病院としての機能の更なる強化			
2-3-1 大規模災害発生時のDMAT及びJMATとの連携体制を強化する。	B	DMAT研修に積極的に参加するとともに埼玉県医療整備課との連携強化を図っている。令和元年度は日本DMAT研修に3名、埼玉DMAT研修に3名参加済。また、令和元年9月に大規模地震時医療活動訓練に伴うDMAT受入訓練を実施し、全国から12チームが参加した。	今後も、日本DMAT、埼玉DMAT等と連携を図り、研修や訓練などをおして更なる連携体制の強化に努める。また、JMATとの連携について再検討する。
2-3-2 BCPの検討を行い、災害発生時においても、より高いレベルで業務を継続する状況を整えていく。	B	平成30年4月からVer2の共用を開始している。	新型コロナウイルス感染症など新たなリスクへの対応を踏まえたBCP計画の策定を進める。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(令和元年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目（目標）	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
2-3-3 病院災害マニュアルの見直しを継続する。	A	大規模地震時医療活動訓練を踏まえ、平成20年1月以降見直しが行われていなかった災害対策マニュアルを大幅に改定した。	毎年実施する災害対策訓練後、災害対策マニュアルを改訂することを義務化した。
3 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割			
3-1 高度急性期医療を提供する大規模自治体病院の特性を活かし、緊急時における後方病床の確保や、地域に必要な医療人材の確保・育成を積極的に進める。			
3-1-1 医師会・地域医療機関との間で、開放型病床利用に関する契約を締結する。	A	平成29年度実施済 開放型病床の利用ニーズ及び実績件数は現状ではなし。	共同指導料算定には、紹介元医療機関の医師が当センター入院中の患者を共同で診療する必要がある。現状では紹介元医療機関の医師は当センターに来院できる時間的余裕等がないため実施に至っていない。 しかしながら、訪問診療を積極的に行っている医療機関では、患者の状態等によっては当センターに来院して共同診療を希望される場合もあるので、そうしたニーズに迅速に対応できるように努める。
3-1-2 地域医療の人材育成に向けて、体制を整備する。 【例：卒後臨床研修評価受審（平成28年12月受審）、認定・取得】	A	臨床研修評価を平成30年12月に受審、認定を取得している。	引き続き認定を維持できる体制を整備する。
3-1-3 生涯学習システムの見直しを継続する。 【例：院内研修の集約・充実、階層別研修・入職時研修・事務職研修の見直し・充実】	A	新人研修の充実、補講の導入など一部見直しを実施。	内部監査員の養成講座や管理職のフォローアップ研修などを実施し、引き続き研修プログラムの充実を図る。
3-1-4 医師及び看護師のサポートスタッフの採用・育成を進める。	B	待遇の見直しを実施し、着実に職員の採用を増やしているが、目標の人数には達していない。	医師事務作業補助者については、勤務形態の見直しを検討し、引き続き採用を実施する。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(令和元年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目（目標）	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
3-2 地域医療連携の推進にかかる取組の推進			
3-2-1 平成21年度から開始している開業医等とのネットワーク強化にかかる取組を継続する。 【例：地域医療機関への訪問、地域医療機関・介護施設向けの研修会の開催、地域医療連携懇話会の開催、連携登録医の導入】	A	地域連携推進懇話会を年度内2回実施。うち1回は自由な交流を主体にしたものとし、地域の医療機関と顔の見える関係づくりを進めた。また、地域医療機関への訪問を実施するなど、ネットワークの強化に努めた。 ・地域医療機関への訪問件数 平成29年度：55 平成30年度：274 令和元年度：150 ※令和元年度は新型コロナウイルス感染症のため訪問を一時休止 ・地域医療連携懇話会の開催実績 平成29年度：2回 平成30年度：2回 令和元年度：2回	今後も年2回、医療・介護・福祉・保健業務に携わる関係者を交えて地域連携推進懇話会を開催し、最新の診療内容等を情報提供したりするなど、地域完結型医療を推進するために関係者との顔の見える関係づくりを継続して実施する。
3-2-2 平成19年度から、紹介患者の受入体制の整備、充実に向けた各種取組を実施しているが、病病・病診連携の更なる推進に向け、紹介患者受入体制を一層強化していく。 【例：紹介患者予約枠・優先受入にかかる運用の見直し】	B	平成30年4月から救急紹介ホットラインを開始して、紹介受入体制を強化している。また、平成30年7月から病診予約の受付時間を17時から19時に2時間延長して受入体制を拡大している。	南部医療圏域に所属する病院との情報交換の場として開催する地域連携実務者会議をとおり、後方病床の確保等に努める。また、診療科ごとの予約枠の適正管理を図るなど受け入れ体制を強化し、病診連携を推進する。
3-2-3 在宅医療・介護との連携を強化するための取組を実施する。 【例：主治医・往診医を含めた退院前カンファレンスの実施、MCSを用いた医療機関・介護事業所等との情報共有の推進】	A	がん診療に関する地域医療連携体制を強化するため、令和元年度に在宅医療等の従事者を交えた多施設合同緩和ケア会議を実施した。 また、在宅医療調整の際には、退院前カンファレンスを必ず実施している。	在宅医療に関する研究会に参加するなど、在宅医との連携強化、情報共有を図る。また、在宅医療従事者を交えた多施設合同緩和ケア会議を毎年1回以上定例開催する。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(令和元年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目（目標）	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
4 医療機能等指標に係る数値目標			
4-1 医療機能・医療品質に係るもの			
4-1-1 救急受入数（件／年） 令和元年度目標：4,956件	S	令和元年度実績：7,281件（10.6%増） （平成30年度実績：6,511件）	
4-1-2 手術件数（件／年） 令和元年度目標：4,871件	S	令和元年度実績：5,688件（9.0%増） （平成30年度実績：5,182件）	
4-1-3 紹介率 令和元年度目標：65.0%以上	A	令和元年度実績：78.6% （平成30年度実績：75.7%）	
4-1-4 逆紹介率 令和元年度目標：40.0%以上	S	令和元年度実績：73.2% （平成30年度実績：62.6%）	
4-2 その他			
4-2-1 入院患者総合満足度	A	平成30年度に調査を実施し、回答335人のうち、98.0%の方から満足、やや満足との評価を得られた。	更なる満足度の向上を目指し、引続き接遇スキルの習得に努めるとともに、外来の待ち時間を短縮できるよう、関係部署と改善策を検討する。
4-2-2 外来患者総合満足度	A	平成30年度に調査を実施し、回答618人のうち、89.3%の方から満足、やや満足との評価を得られた。	

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(令和元年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目（目標）	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
5 住民の理解のための取組			
5-1 病院ホームページの充実を図る。	A	平成30年度にサイトデザインやページ構成など刷新し、令和元年度は個別ページのリニューアル等に努めた。また、掲載記事の申請方法などの管理体制を整理した。	患者や他医療機関から選ばれる病院となるため、最新の診療実績や医師の情報等の掲載するとともに、見やすいレイアウトにするなど、更にホームページの充実を図る。
5-2 川口市広報誌、広報誌「花水木」等によりPRを行う。	A	広報誌「花水木」の規格を改め、発行回数・発行部数を増やし、市内外の医療機関へ広く配布した。また、医療情報誌の取材を受けるとともに、産科病棟のリニューアルについて広告を掲載した。	効果的な広報を目指し、医療情報誌への記事掲載等も含め今後のPR方法を検討する。
6 経営指標に係る数値目標			
6-1 収支改善に係るもの			
6-1-1 経常収支比率 令和元年度目標：101.2%	C	令和元年度実績：95.7% (平成30年度実績：95.2%)	重症度の高い紹介患者の獲得とともに、クリニカルパスの適用拡大及び早期退院支援の充実によるDPC入院期間の適正化、外来診療の適正化、保険請求の詳細な点検による確実な収益化を推進し増収を図る。
6-1-2 医業収支比率 令和元年度目標：97.3%	C	令和元年度実績：92.2% (平成30年度実績：90.9%)	

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(令和元年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目（目標）	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
6-2 経費削減に係るもの			
6-2-1 給与費の対医業収益比率 令和元年度目標：47.2%	C	令和元年度実績：56.0% (平成30年度実績：57.5%)	入院患者数、手術件数増加による、時間外勤務手当の増加、また、常勤医師の不足を補うための医師報酬金の支出の増加のため、給与費が増加となったが、医師の働き方改革により、時間外勤務の縮減に取り組む。
6-2-2 材料費の対医業収益比率 令和元年度目標：24.7%	B	令和元年度実績：25.4% (平成30年度実績：24.8%)	薬品・診療材料ともに価格交渉、後発品への切替、物品の統合・入替等の手法により、安価での購入に努める。また、薬剤部・SPDと連携しながら材料の適正な使用方法および使用量について医療従事者へ情報提供を行い、各現場での適正な使用を促すことで対医業収益比率の改善に努める。
6-2-3 減価償却費の対医業収益比率 令和元年度目標：9.2%	A	令和元年度実績：9.1% (平成30年度実績：9.0%)	電子カルテの更新等、新規リース資産の取得に伴うリース資産減価償却費の増によるもの。今後は「6-1」による医業収益の確保のほか、採算性を十分精査した取得資産の選定をすることにより比率の改善を図る。
6-2-4 後発医薬品使用割合 令和元年度目標：80%以上	A	令和元年度実績：94.03% (平成30年度実績：92.95%)	後発医薬品の使用については、国が掲げた使用割合目標値80%以上に対し、継続して達成している。今後も引き続き、使用割合の増に向け各種取り組みを進める。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(令和元年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目 (目標)	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
6-3 収入確保に係るもの			
6-3-1 入院患者数 (人/日) 令和元年度目標：485人	B	令和元年度実績：468人/日 (平成30年度実績：458人/日)	地域の医療機関に対し、当センターが得意とする診療内容のPRを行うとともに、返書およびかかりつけ医への紹介状の作成率を向上させ、救急紹介ホットラインの紹介率の向上と断りの削減を実施するなど、連携を一段と深めて、入院患者の増加に努める。
6-3-2 新入院患者数 (人/日) 令和元年度目標：37人	A	令和元年度実績：37.0人 (平成30年度実績：34.3人)	
6-3-3 平均在院日数 令和元年度目標：12.0日	A	令和元年度実績：11.7日 (平成30年度実績：12.3日)	今後も、早期退院促進等に取り組み、平均在院日数の短縮に努める。
6-3-4 病床稼働率 令和元年度目標：90.0%	B	令和元年度実績：86.8% (平成30年度実績：85.0%)	入院患者の増加及び平均在院日数の短縮に一層取り組み、病床稼働率及び利用率の向上に努める。
6-3-5 病床利用率 令和元年度目標：83.0%	B	令和元年度実績：80.0% (平成30年度実績：78.6%)	
6-3-6 外来患者数 (人/日) 令和元年度目標：1,084人	A	令和元年度実績：1,105人/日 (平成30年度実績：1,204人/日)	地域医療支援病院として外来診療の適正化を図り、紹介患者中心の診療を行う。
6-4 経営の安定に係るもの			
6-4-1 常勤医師数 令和元年度目標：116人	B	令和元年度末常勤医師数：103人 (平成30年度末常勤医師数：110人)	大学医局へ医師の派遣を依頼するなど引き続き必要な医師の確保に努める。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(令和元年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目（目標）	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
7 新たな施設基準等の取得による収益向上			
7-1 DPC特定病院群（Ⅱ群）	B	入院期間が影響する項目及び各手術の重み付けをする外保連手術指数などの項目が要件を満たさず移行できなかった。	今後、入院期間（術前日数）の短縮と、手術件数を増加させるため、手術室の稼働分析を重点的に実施するなど、要件を満たさなかった項目について対応を強化する。
7-2 地域医療支援病院	A	平成29年度承認取得。平成30年4月1日から地域医療支援病院開始	
7-3 看護職員夜間12対1配置加算1	B	平成30年12月に基準を満たさなくなったことに伴い、16対1配置加算1に届出を変更した。	体制が整備され次第、12対1への届出変更を行う（令和2年6月取得）。
7-4 病棟薬剤業務実施加算1	A	平成28年11月取得	
7-5 医師事務作業補助体制加算2（30対1）	B	未取得	医師事務作業補助者の増員を図っているが、加算の取得には至っていない。引き続き人員確保に努める（令和2年7月取得）。
7-6 急性期看護補助体制加算（50対1）	A	平成29年5月取得	
7-7 国際標準検査管理加算（ISO 15189）	B	ISO 15189の認定を令和元年10月に病理検査部門が取得した。検体部門の認定取得後、加算を得ることが可能となる。	令和2年度内に、拡大審査を受審し、引き続き検査科職員独自の取り組みにて、検査科全部門の認定を目指す。令和元年度内に拡大審査受審申請済み。

川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020 点検・評価票(令和元年度)

評価レベル S：予定以上の成果をあげた A：予定どおりの成果をあげた B：進行中・及ばない C：遅れている・はるかに及ばない

評価項目（目標）	評価欄	評価理由	改善策・今後の取組事項等
8 その他			
8-1 平成21年度から取り組んでいる地域完結型医療の実現に向けた医療センターの役割、地域の診療所における「かかりつけ医」機能、医療センターと地域診療所の連携強化にかかる取組を今後も継続する。	A	登録医登録件数（令和2年3月1日現在）： 医科157件、歯科98件、計255件 *医師会、歯科医師会加入者のみ	引き続き、登録医名を院内及びホームページに掲載し、かかりつけ医への受診を啓発するとともに、地域連携推進懇話会の開催、地域医療機関への経営幹部による訪問等を実施し、地域連携のネットワークづくりを強化する。
8-2 平成20年度に導入した院内保育室の24時間保育を継続する。	A	引き続き24時間保育を実施し、職員の職場復帰及び子育て支援を行った。	利用者を対象に実施したアンケートの結果をもとに、ニーズに合った質の高い保育の提供を目指す。積極的なPRにより利用率の向上を図り、更なる職員の職場復帰及び子育てを支援する。
8-3 平成19年度に導入した改善推進活動を継続する。	A	改善推進活動を引き続き実施した。	改善能力養成講座や発表会の開催などを継続して実施する。
8-4 平成19年度導入の医療者を中心とした階層別研修を継続する。	A	医療職の階層別研修を引き続き実施した。	内部監査員の養成講座や管理職のフォローアップ研修など実施し、研修プログラムの充実に向けて引き続き検討する。
8-5 業務改善に向けた環境整備を図るために、入退院センター及び予約センターの設置、電子カルテを含む既存システムの更新、整備を進める。	A	患者支援センターを設置し、入退院、紹介、予約の機能をワンストップ化した。また、平成30年5月に電子カルテシステムの更新を行った。	患者支援センターの機能を維持するとともに、引き続き、電子カルテを含む既存システムの更新、整備を実施する。
8-6 住民の健康増進に寄与するために健診事業の拡大を検討する。	A	総合健診センター内に内視鏡室2ブース設置し、平成30年7月から川口市胃がん（内視鏡）検診を実施した。	